
2021年3月期 第2四半期
決算プレゼンテーション資料



アコム株式会社

<https://www.acom.co.jp/corp/ir/>

2020年11月5日

免責事項

本資料の数値のうち、過去の事実以外のアコム株式会社の計画、方針その他の記載にかかわるものは、将来の業績にかかる予想値であり、それらはいずれも、現時点においてアコム株式会社が把握している情報に基づく経営上の想定や見解を基礎に算出されたものです。

従いまして、かかる予想値は、リスクや不確定要因を内包するものであって、現実の業績は、諸々の要因により、かかる予想値と異なってくる可能性があります。

かかる潜在的なリスクや不確定要因として考えられるものとしては、例えば、アコム株式会社を取り巻く経済情勢や消費者金融を取り巻く市場規模の変化、債務不履行に陥る顧客の割合、「利息制限法」に基づく上限金利を超える部分の返還請求等の発生件数及び返還金額の変動、アコム株式会社が支払う借入金利率のレベル、法定制限利率が考えられますが、これらに限りません。



1. 経営環境	4	14. 貸倒関連費用	17
2. 個人向けカードローン市場の規模推移	5	15. 金融費用	18
3. 2021年3月期 通期計画	6	16. 配当状況	19
4. 決算概要	7		
5. セグメント別構成比	8	参考情報	
6. ローン・クレジットカード事業の概況(アコム)	9	17. 【参考】新型コロナウイルス感染症の影響①	21
7. ローン事業の概況(アコム)	10	18. 【参考】新型コロナウイルス感染症の影響②	22
8. 信用保証事業の概況(アコム、エム・ユー信用保証)	11	19. 【参考】中期経営方針、中期重点テーマ	23
9. 信用保証事業の概況(アコム)	12	20. 【参考】中期経営計画(2020/3-2022/3) 業容・業績	24
10. 海外金融事業のターゲット市場	13	21. 【参考】中期経営計画(2020/3-2022/3) 事業別業容・業績	25
11. 海外金融事業の概況	14	22. 【参考】中期経営計画(2020/3-2022/3) 資本政策	26
12. 利息返還請求件数の推移(アコム)	15		
13. 利息返還損失の推移(アコム)	16		

参考情報

17. 【参考】新型コロナウイルス感染症の影響①	21
18. 【参考】新型コロナウイルス感染症の影響②	22
19. 【参考】中期経営方針、中期重点テーマ	23
20. 【参考】中期経営計画(2020/3-2022/3)業容・業績	24
21. 【参考】中期経営計画(2020/3-2022/3)事業別業容・業績	25
22. 【参考】中期経営計画(2020/3-2022/3)資本政策	26



経営環境

マクロ環境

<日本>

- 新型コロナウイルス感染症に対する防疫措置をとりながらの社会・経済活動が続いており、感染の再拡大に関して予断を許さない状況
- 足元では各種政策の効果等により消費マインドに持ち直しの動き
- 新型コロナウイルス感染症による影響は不透明な状況が続くことが想定されるため、引き続き影響を注視

<タイ王国>

- 現地政府の非常事態宣言による外出禁止令、活動制限、及び都市のロックダウン等の影響により景気動向は引き続き厳しい状況

<フィリピン共和国>

- 現地政府の活動制限措置の影響により、経済成長率が過去最低を記録するなど、厳しい状況

市場・競争環境

<日本>

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により個人消費が急速に減少したことから、個人向けカードローンの市場規模は縮小
- 消費マインドに持ち直しの動きが見られることから、今後は緩やかな増加へとシフトしていくと期待
- 利息返還請求は着実に減少しているものの、外部環境の変化などの影響を受けやすいことから、引き続き動向を注視

<タイ王国>

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響による個人消費の落ち込みにより、パーソナルローン市場は縮小に転じる
- タイ中央銀行より8月1日以降の上限金利引下げ(28%⇒25%)が示達。第3四半期以降の収益への影響を注視

<フィリピン共和国>

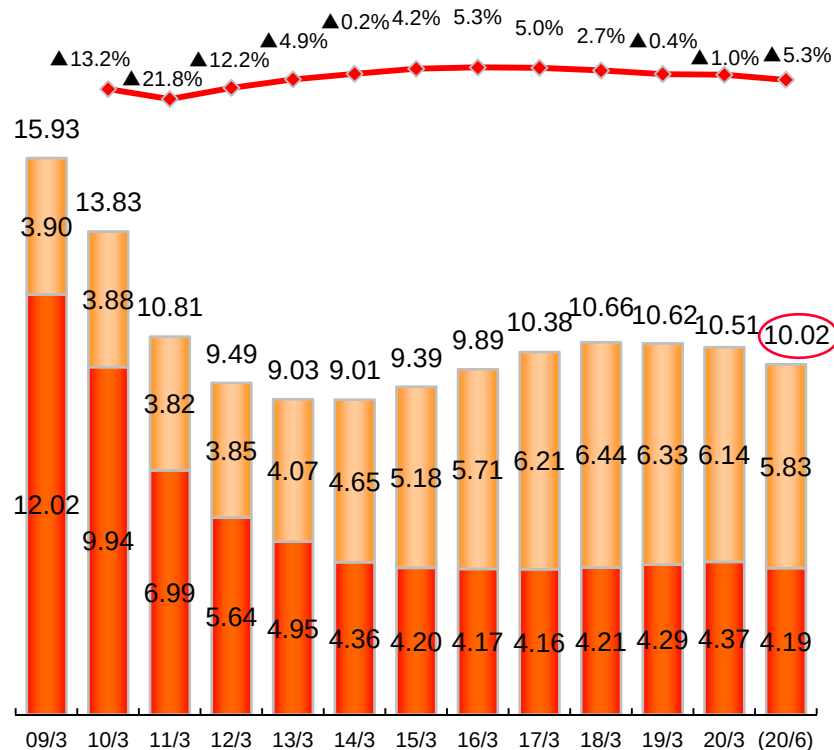
- パーソナルローン市場は、拡大を維持
- 9月15日より経済復興支援策として通称「バヤニハン2法」が施行。60日間の返済猶予が義務化



個人向けカードローン市場の規模推移

個人向けカードローン市場

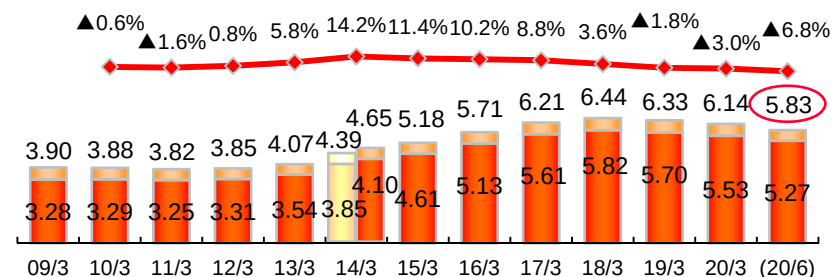
■ ノンバンク業態 ■ バンク業態 ◆ yoy (※1) (兆円)



アコムシェア	10.3%	12.4%	13.5%	14.4%	15.6%	16.2%	16.7%	17.2%	17.4%	17.7%	18.2%	18.5%
連結ベース	16.4%	17.1%	17.7%	18.4%	18.8%	19.1%	19.7%	20.1%				

バンク業態(※2)

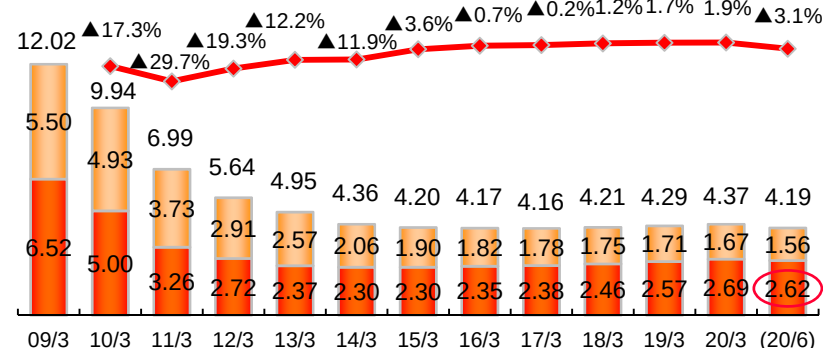
■ 国内銀行 ■ 信用金庫 ◆ yoy (兆円)



アコムシェア	8.2%	11.6%	12.5%	14.4%	14.6%	15.0%	15.5%	16.2%	16.4%	16.7%	17.4%	17.8%
連結ベース	16.2%	16.6%	17.3%	18.2%	18.6%	19.1%	20.1%	20.5%				

ノンバンク業態(※3)

■ 消費者金融業態 ■ クレジット業態など ◆ yoy (兆円)



アコムシェア	11.1%	12.9%	14.2%	14.5%	16.6%	17.8%	18.4%	18.8%	19.0%	19.1%	19.2%	19.4%
--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

※1. “yoy”は前年同期比（次ページ以降も同様）

※2. バンク業態とは、日本銀行統計の国内銀行及び信用金庫の個人向けカードローン残高（14/3のバンク市場残高は、2015年8月10日に日本銀行統計が訂正され0.26兆円増加）

※3. ノンバンク業態とは、日本貸金業協会統計の営業貸付金残高（証書貸付を含む）、日本貸金業協会統計の2020年6月数値は速報値



2021年3月期 通期計画

	A	B	C	D	E	F	G	H
	連結				単体			
(単位:百万円、%)	2020/3		2021/3		2020/3		2021/3	
<業容>	実績	yoy	計画	yoy	実績	yoy	計画	yoy
1 営業債権残高	2,359,855	1.1	2,225,300	-5.7	1,987,523	2.2	1,873,900	-5.7
2 ローン・クレジットカード事業	915,883	3.5	867,400	-5.3	915,883	3.5	867,400	-5.3
3 信用保証事業	1,233,228	1.7	1,161,700	-5.8	1,071,640	1.2	1,006,500	-6.1
4 海外金融事業	201,524	-11.4	187,800	-6.8	-	-	-	-
5 EASY BUY	201,186	12.4	187,200	-7.0	-	-	-	-
<業績>								
6 営業収益	279,510	0.9	263,000	-5.9	206,968	1.6	196,800	-4.9
7 ローン・クレジットカード事業	149,266	3.1	143,600	-3.8	149,266	3.1	143,600	-3.8
8 信用保証事業	68,569	-1.1	63,800	-7.0	57,630	-1.9	53,100	-7.9
9 海外金融事業	56,314	-1.2	50,600	-10.1	-	-	-	-
10 EASY BUY	54,332	9.2	50,400	-7.2	-	-	-	-
11 営業費用	203,873	-7.1	173,500	-14.9	157,694	-7.2	131,300	-16.7
12 金融費用	8,228	-27.3	6,000	-27.1	4,648	-17.3	3,900	-16.1
13 貸倒関連費用	81,916	7.8	72,100	-12.0	61,950	8.9	53,300	-14.0
14 利息返還費用	19,700	-50.1	-	-	19,700	-50.1	-	-
15 その他の営業費用	94,028	1.5	95,400	1.5	71,394	5.0	74,100	3.8
16 営業利益	75,636	31.3	89,500	18.3	49,273	46.5	65,500	32.9
17 経常利益	75,104	29.0	90,500	20.5	56,352	50.4	72,400	28.5
18 税金等調整前当期純利益	80,011	44.6	90,300	12.9	64,136	85.5	72,200	12.6
19 当期純利益	64,020	50.6	75,000	17.2	53,673	79.3	63,600	18.5
20 親会社株主に帰属する当期純利益	59,600	57.8	70,300	18.0	-	-	-	-



決算概要

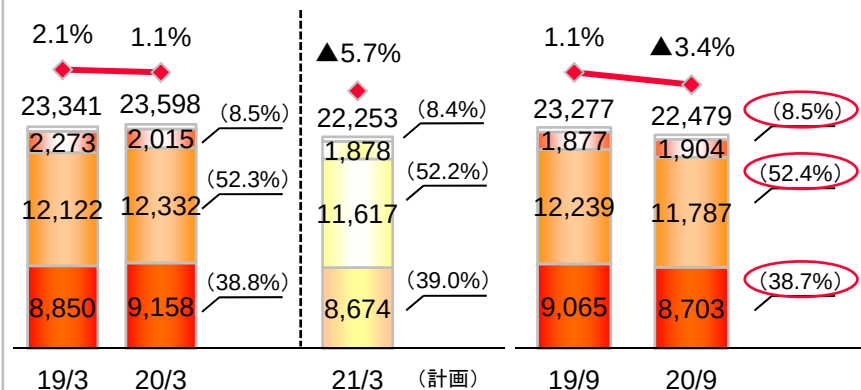
	A	B	C	D	E	F	G	H
	連結				単体			
(単位: 百万円、%)	2019/9		2020/9		2019/9		2020/9	
<業容>	実績	yoy	実績	yoy	実績	yoy	実績	yoy
1 営業債権残高	2,327,707	1.1	2,247,995	-3.4	1,972,025	2.2	1,892,050	-4.1
2 ローン・クレジットカード事業	906,549	4.0	870,332	-4.0	906,549	4.0	870,332	-4.0
3 信用保証事業	1,223,964	1.4	1,178,705	-3.7	1,065,475	0.7	1,021,717	-4.1
4 海外金融事業	187,729	-12.1	190,470	1.5	-	-	-	-
5 EASY BUY	187,544	12.3	190,018	1.3	-	-	-	-
<業績>								
6 営業収益	139,290	1.4	134,945	-3.1	103,191	1.8	100,268	-2.8
7 ローン・クレジットカード事業	74,452	3.1	72,950	-2.0	74,452	3.1	72,954	-2.0
8 信用保証事業	34,146	-0.7	32,737	-4.1	28,704	-1.4	27,279	-5.0
9 海外金融事業	28,118	1.0	26,971	-4.1	-	-	-	-
10 EASY BUY	26,230	7.9	26,875	2.5	-	-	-	-
11 営業費用	88,478	-1.0	80,446	-9.1	65,870	1.2	59,158	-10.2
12 金融費用	4,538	-23.4	3,125	-31.1	2,384	-20.2	1,994	-16.4
13 貸倒関連費用	38,965	1.5	32,755	-15.9	29,747	2.6	22,774	-23.4
14 利息返還費用	-	-	-	-	-	-	-	-
15 その他の営業費用	44,974	-0.2	44,565	-0.9	33,738	1.8	34,388	1.9
16 営業利益	50,812	6.0	54,499	7.3	37,320	2.8	41,109	10.2
17 経常利益	50,144	4.0	55,410	10.5	42,652	6.9	46,514	9.1
18 税金等調整前当期純利益	55,235	14.6	55,368	0.2	51,057	28.1	46,474	-9.0
19 当期純利益	46,957	11.4	46,154	-1.7	44,382	20.7	40,034	-9.8
20 親会社株主に帰属する当期純利益	45,098	13.2	43,505	-3.5	-	-	-	-



セグメント別構成比

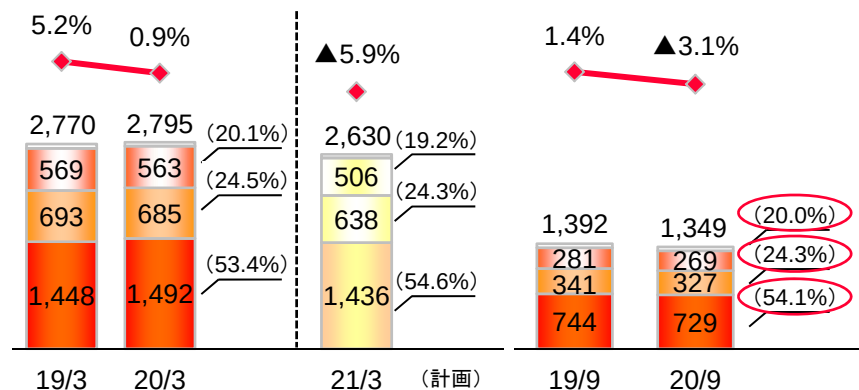
営業債権残高

■ L.C 事業(※)
 ■ 信用保証事業
 ■ 海外金融事業
 ■ その他
 ◆ yoy ()セグメント別構成比 (億円)



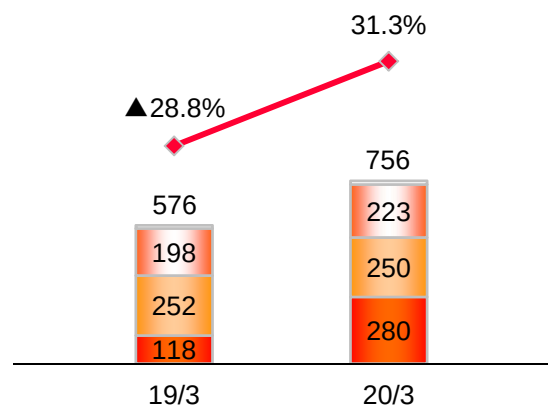
営業収益

■ L.C 事業
 ■ 信用保証事業
 ■ 海外金融事業
 ■ その他
 ◆ yoy ()セグメント別構成比 (億円)

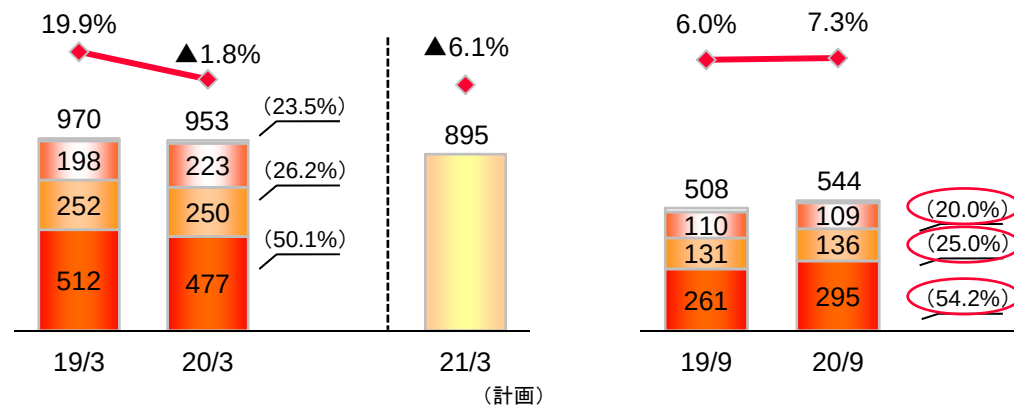


営業利益

■ L.C 事業
 ■ 信用保証事業
 ■ 海外金融事業
 ■ その他
 ◆ yoy ()セグメント別構成比 (億円)



<参考> 利息返還費用を除く営業利益



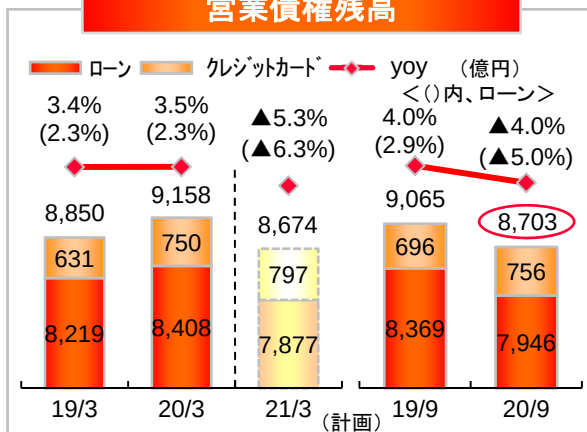
※ L.C 事業とは、ローン・クレジットカード事業



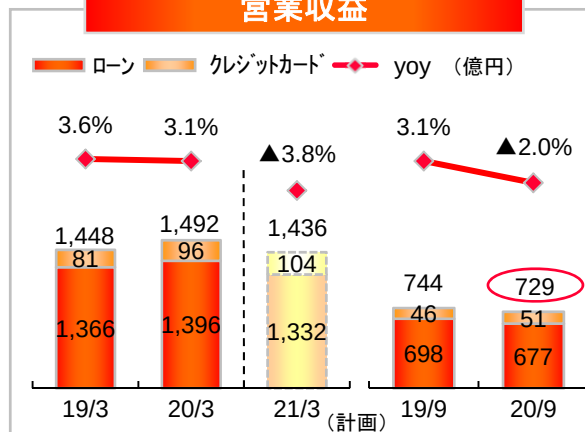
ローン・クレジットカード事業の概況(アコム)

- 営業債権残高：外出自粛等により資金需要が低下し、前年同期比▲4.0%(ytd▲5.0%)の8,703億円
- 営業収益：営業貸付金利息の減少等により、同▲2.0%の729億円
- 営業利益：貸倒関連費用の減少により、同+13.0%の295億円

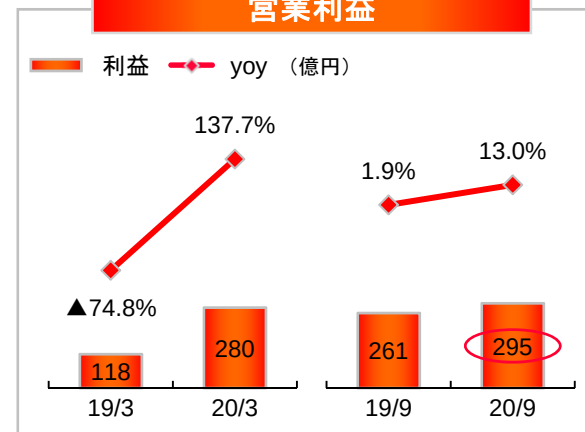
営業債権残高



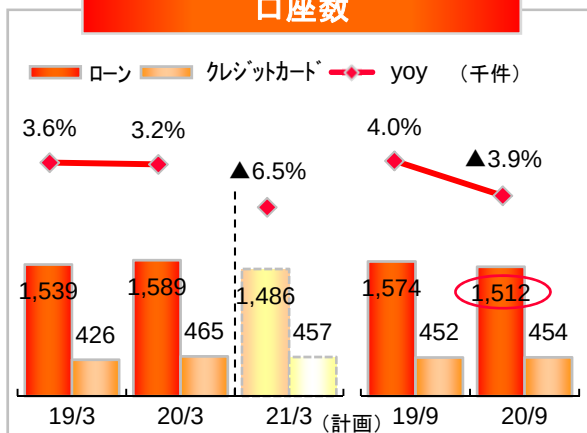
営業収益



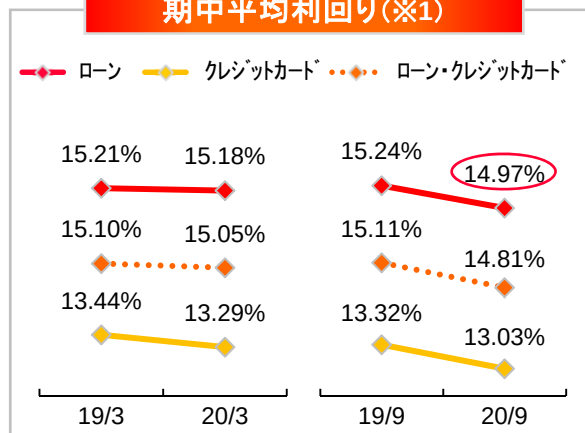
営業利益



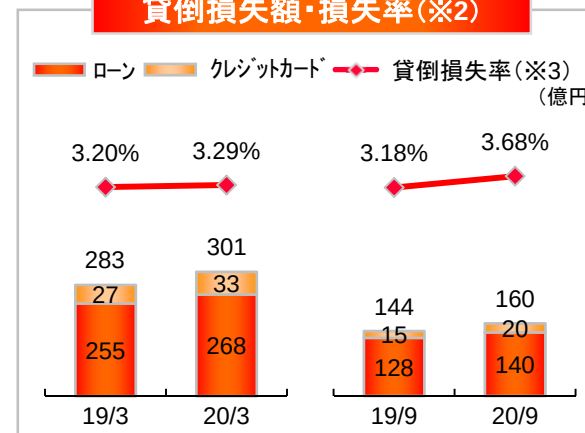
口座数



期中平均利回り(※1)



貸倒損失額・損失率(※2)



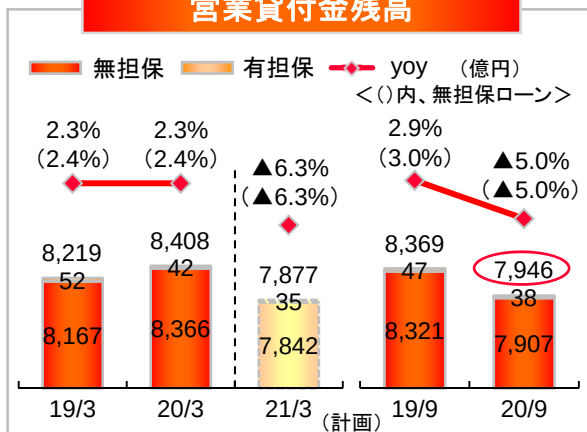
※1. クレジットカードにおける利回りは、リボルビングにおける残高と手数料より算出
 ※2. 貸倒損失額及び損失率は、利息返還請求に起因する債権放棄分を除く
 ※3. 貸倒損失率の2019/9及び2020/9は年率換算



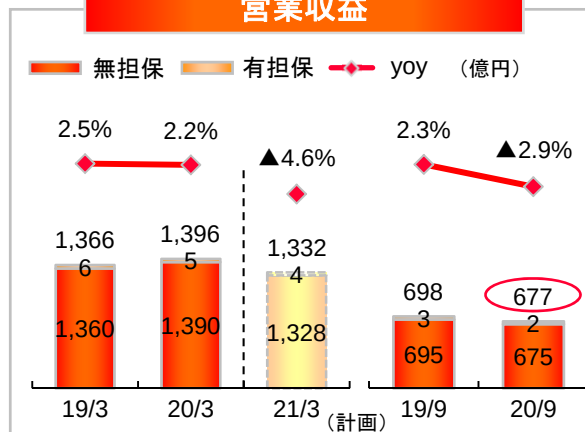
ローン事業の概況(アコム)

- 営業貸付金残高：前年同期比▲5.0%(ytd▲5.5%)の7,946億円
- 営業収益：同▲2.9%の677億円
- 新客数：資金需要の低下および広告出稿の抑制により、同▲44.1%の75千件

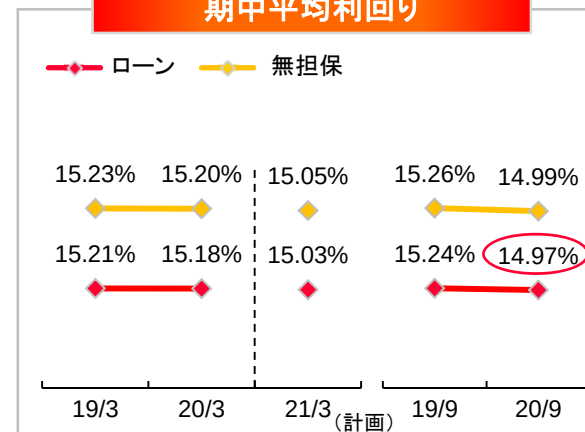
営業貸付金残高



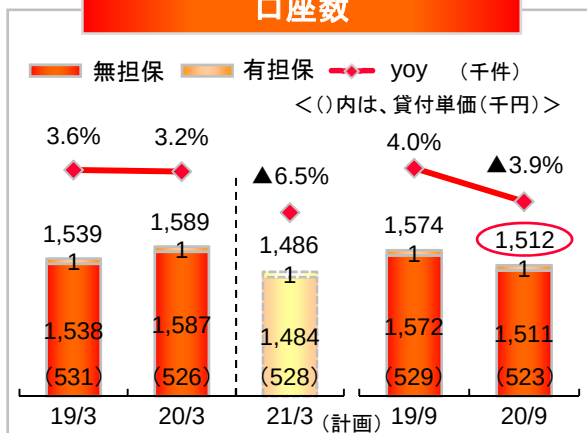
営業収益



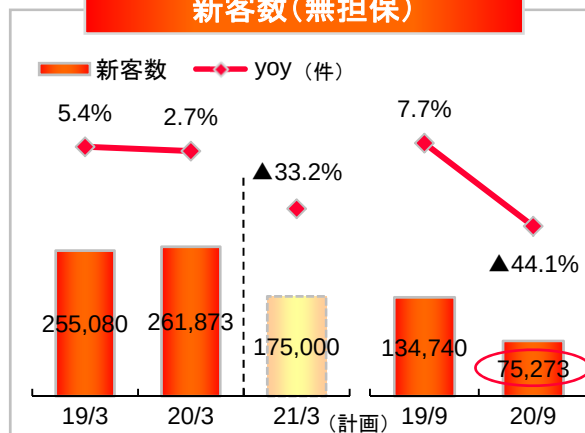
期中平均利回り



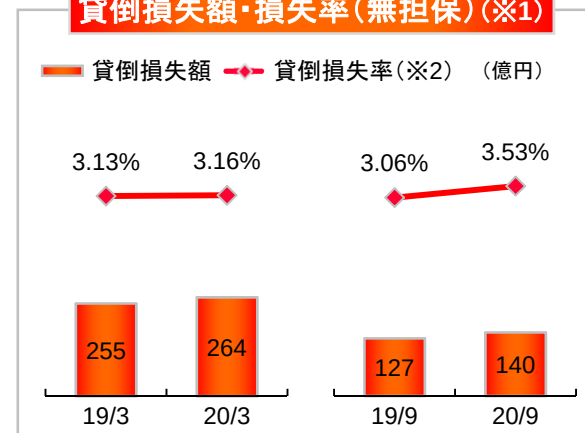
口座数



新客数(無担保)



貸倒損失額・損失率(無担保)(※1)



※1. 貸倒損失額及び損失率は、利息返還請求に起因する債権放棄分を除く

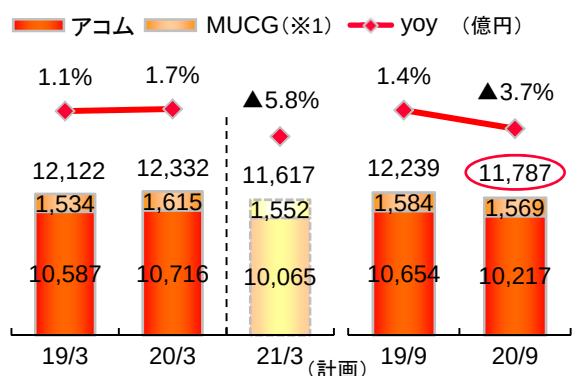
※2. 貸倒損失率の2019/9及び2020/9は年率換算



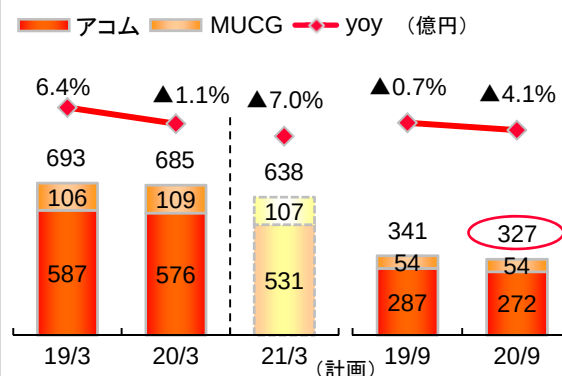
信用保証事業の概況(アコム、エム・ユー信用保証)

- 信用保証残高：外出自粛等により資金需要が低下し、前年同期比▲3.7% (ytd▲4.4%)の11,787億円
- 営業収益：信用保証残高の減少および保証料率の見直しにより、同▲4.1%の327億円
- 営業利益：貸倒関連費用の減少により、同+3.1%の136億円

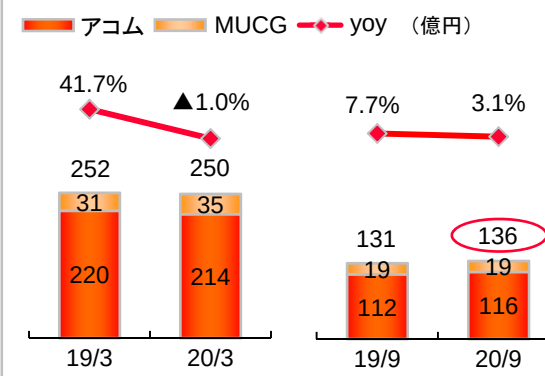
信用保証残高



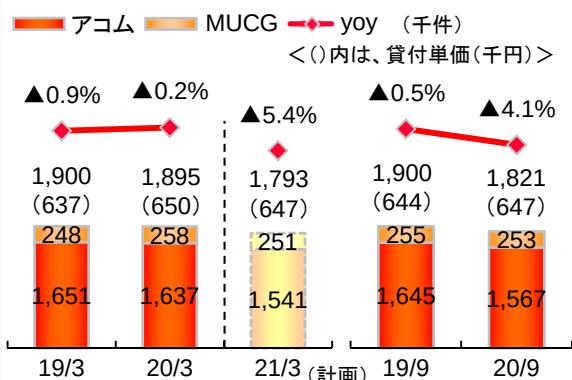
営業収益



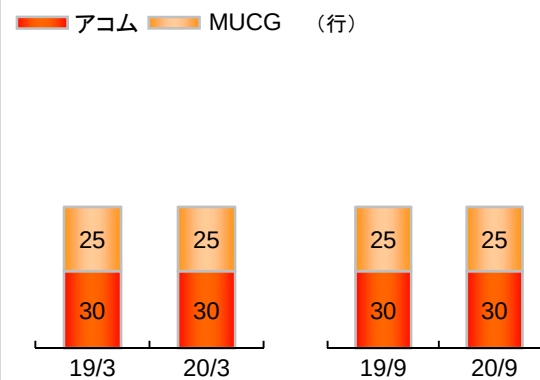
営業利益



口座数



提携先数(※2)



提携カバーエリア

全国47都道府県中
41都道府県をカバー



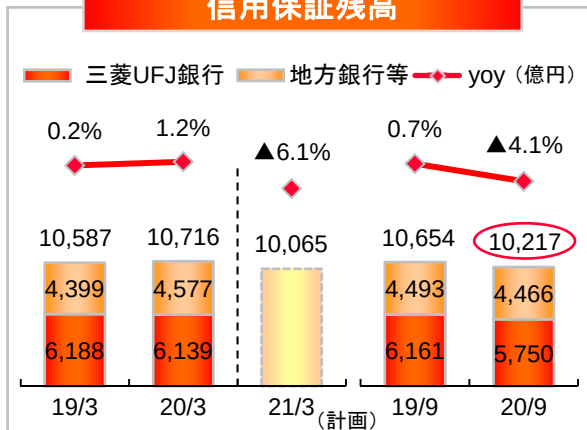
※1. MUCGとは、エム・ユー信用保証株式会社
 ※2. 提携先数は、アコムとMUCGで3行重複



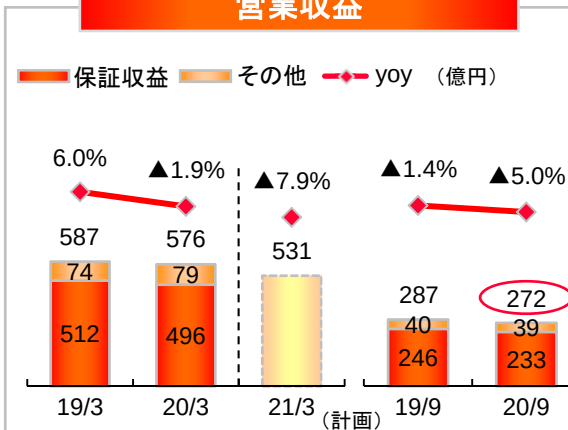
信用保証事業の概況(アコム)

- 信用保証残高：前年同期比▲4.1%(ytd▲4.7%)の10,217億円
- 営業収益：同▲5.0%の272億円
- 営業利益：同+3.5%の116億円

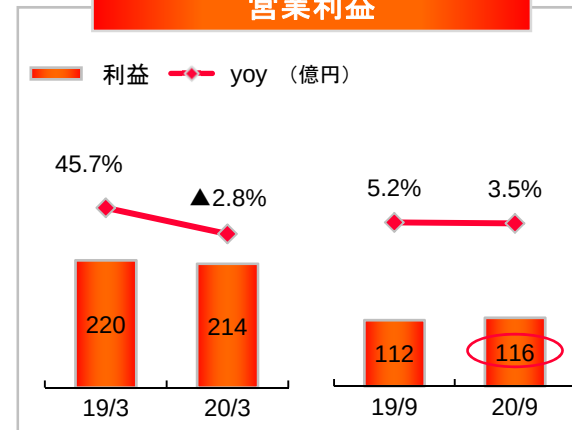
信用保証残高



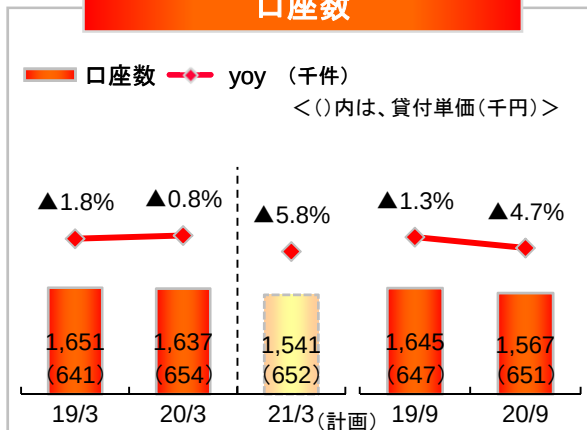
営業収益



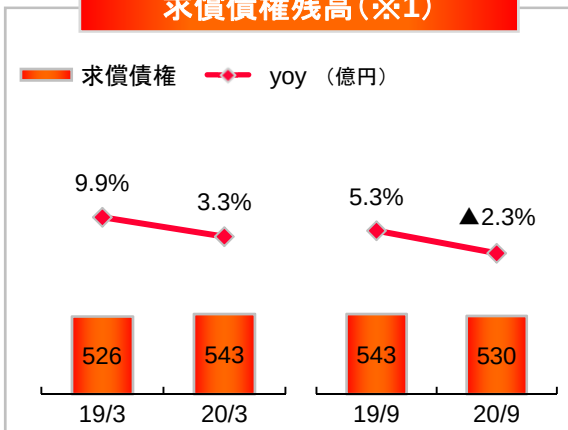
営業利益



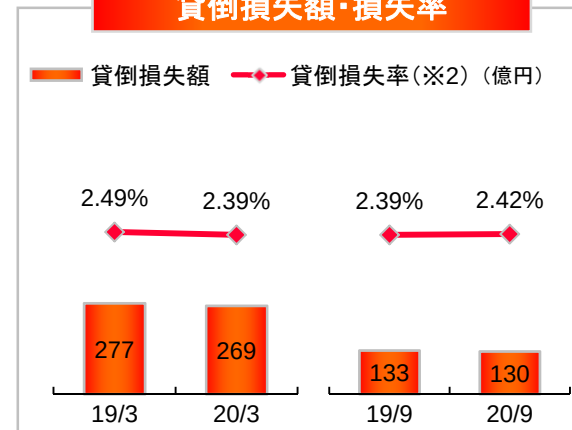
口座数



求償債権残高(※1)



貸倒損失額・損失率

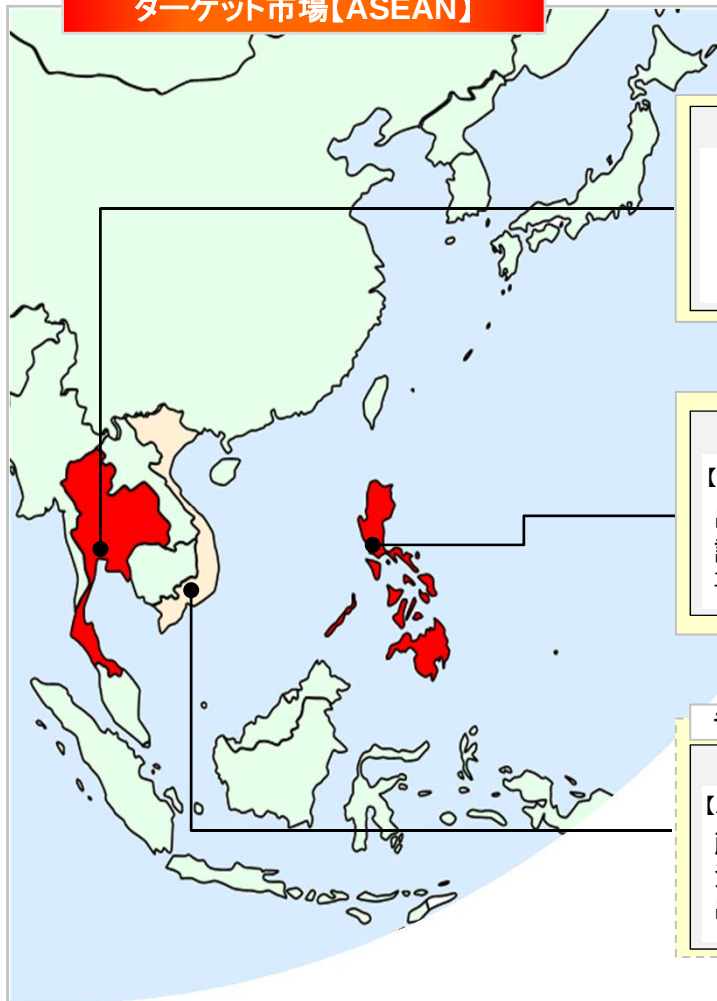


※1. 求償債権残高とは、保証履行未償却債権残高
 ※2. 貸倒損失率の2019/9及び2020/9は年率換算



海外金融事業のターゲット市場

ターゲット市場【ASEAN】



【タイ王国】

【EASY BUY Public Company Limited】

出 資 比 率：71.00%

設 立 年 月：1996年9月

事 業 内 容：無担保ローン事業、
インストールメントローン事業

- 新型コロナウイルス感染拡大による影響を注視
- 8月1日より上限金利を28%から25%へ引下げ。3Q以降の収益への影響を注視

【フィリピン共和国】

【ACOM CONSUMER FINANCE CORPORATION】

出 資 比 率：80.00%

設 立 年 月：2017年7月

事 業 内 容：無担保ローン事業

- 2018年7月より事業開始
- メトロマニラ圏で5店舗を開設
- 新型コロナウイルス感染拡大による影響を注視

ライセンス申請中

【ベトナム社会主義共和国】

【ACOM VIETNAM FINANCE COMPANY LIMITED】

所 在 地：ホーチミン

資 本 金：6,000億ドン（約27億円）

出 資 比 率：100%

- 2014年5月に会社設立に係るライセンスを申請
- 2016年6月に同ライセンスを再申請
- 審査終了後、速やかに事業開始予定

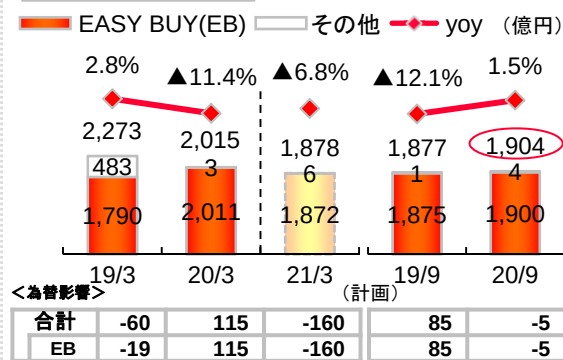


海外金融事業の概況

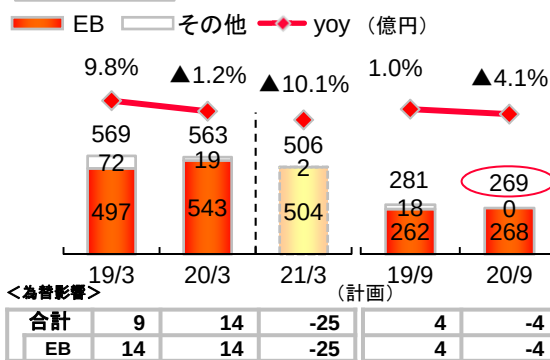
- 営業債権残高(連結)：前年同期比+1.5% (ytd▲5.5%) の1,904億円
- 営業収益(連結)：Bank BNP(※1)の連結除外により、同▲4.1%の269億円
- 営業利益(連結)：EASY BUYの貸倒関連費用の増加により、同▲1.6%の109億円

海外金融事業【円ベース】(※2)

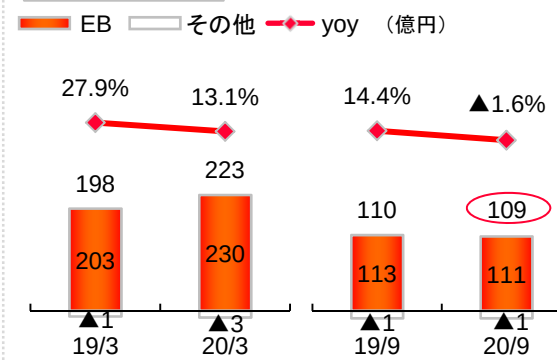
営業債権残高(※3)



営業収益

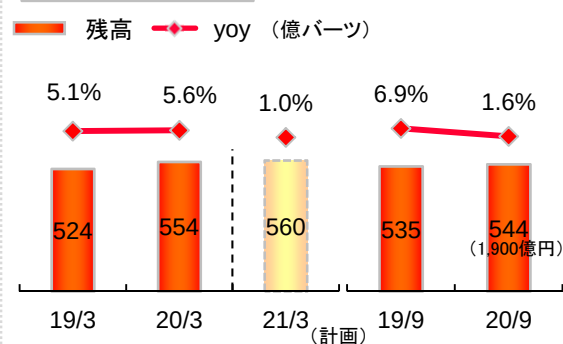


営業利益(※4)

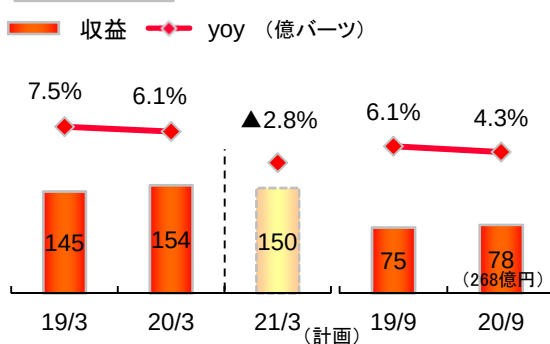


EASY BUY【現地通貨ベース】

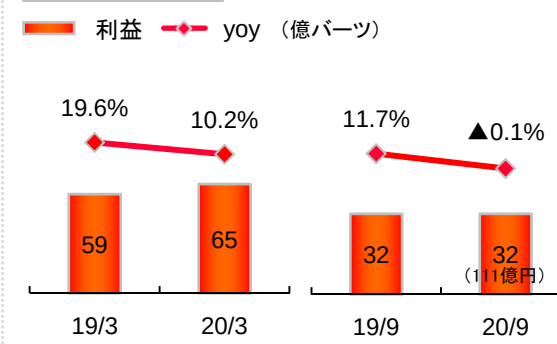
営業債権残高(※5)



営業収益



営業利益



※1. Bank BNPとは、インドネシア共和国において銀行業を営んでいたPT Bank Nusantara Parahyangan, Tbk. (2019年5月1日にPT Bank Danamon Indonesia, Tbk.を存続会社として合併)

※2. 為替レート：パーツ B/S:3.50円(19/9)、3.49円(20/9)、計画3.34円(21/3) P/L:3.49円(19/9)、3.43円(20/9)、計画3.35円(21/3)

第2四半期為替変動：パーツ(B/S yoy ▲0.01円 P/L yoy▲0.06円)

※3. 営業債権残高 = 営業貸付金残高 + 割賦売掛金残高 + 銀行業貸出金残高 ※4. 営業利益はセグメント利益を掲載 ※5. 営業債権残高 = 営業貸付金残高 + 割賦売掛金残高



利息返還請求件数の推移(アコム)

- 請 求 件 数 : 前年同期比▲9.4%の11,600件
- 予 想 (件 数) : 2021年3月期の請求件数は、前期比▲20%を予想

●利息返還請求件数(※1)(※2)

(単位: 件、%)

	2016/3		2017/3		2018/3		2019/3		2020/3			2021/3		
	利息返還 請求件数	yoy	利息返還 請求件数	yoy	利息返還 請求件数	yoy	利息返還 請求件数	yoy	利息返還 請求件数	yoy	1営業日 当たり	利息返還 請求件数	yoy	1営業日 当たり
合計	72,200	-9.3	60,700	-15.9	34,300	-43.5	27,100	-21.0	24,700	-8.9	102	11,600	-9.4	95
4月	6,500	0.0	5,500	-15.4	3,600	-34.5	2,400	-33.3	2,200	-8.3	110	1,600	-27.3	76
5月	5,500	-11.3	5,600	1.8	3,400	-39.3	2,600	-23.5	2,100	-19.2	-12.0	1,700	-19.0	94
6月	6,400	-3.0	5,800	-9.4	3,400	-41.4	2,500	-26.5	2,300	-8.0	115	2,500	8.7	113
7月	6,100	-14.1	4,900	-19.7	2,800	-42.9	2,400	-14.3	2,300	-4.2	104	2,100	-8.7	100
8月	5,300	-10.2	4,700	-11.3	2,500	-46.8	2,300	-8.0	1,900	-17.4	-7.5	1,900	0.0	95
9月	6,600	-15.4	4,800	-27.3	2,800	-41.7	2,000	-28.6	2,000	0.0	105	1,800	-10.0	90
10月	6,700	-10.7	4,600	-31.3	2,700	-41.3	2,400	-11.1	2,200	-8.3	104			
11月	6,000	0.0	4,900	-18.3	4,100	-16.3	2,200	-46.3	2,000	-9.1	-4.7	100		
12月	5,800	-7.9	5,200	-10.3	2,300	-55.8	1,800	-21.7	1,900	5.6	95			
1月	4,700	-4.1	4,500	-4.3	2,000	-55.6	2,000	0.0	1,800	-10.0	94			
2月	6,200	-10.1	5,200	-16.1	2,200	-57.7	2,200	0.0	1,800	-18.2	-10.8	100		
3月	6,400	-19.0	5,000	-21.9	2,500	-50.0	2,300	-8.0	2,200	-4.3	104			

※1. 利息返還請求件数: 弁護士・司法書士受任債権発生件数の内、当社が利息制限法に基づいて再計算した結果、利息返還金が発生する件数

※2. 利息返還請求件数には再受任分を含む



利息返還損失の推移(アコム)

- 取崩額 : 前期末残高876億円から142億円を取崩す (利息返還金126億円 + 債権放棄15億円)
- 引当金残高 : 2Qにおける追加繰入はなく、733億円。2024年3月期までをカバー
- 予想(取崩額) : 2021年3月期の取崩額は前期比▲10%から▲15%を予想

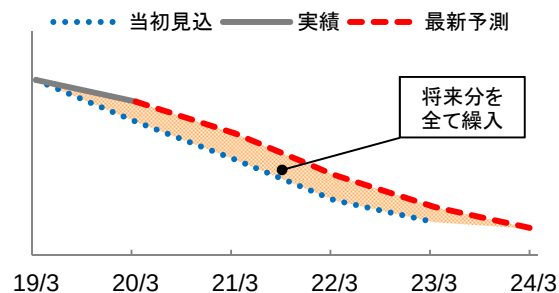
●利息返還損失引当金

(単位:百万円、%)

	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3						2021/3			
					1Q	2Q	3Q	4Q	累計	yoy	1Q	2Q	累計	yoy
取崩額	69,238	68,828	60,831	41,248	8,058	8,933	8,805	8,603	34,400	-16.6	6,854	7,385	14,240	-16.2
利息返還金	57,600	58,852	53,470	36,586	7,210	7,975	7,802	7,697	30,686	-16.1	6,113	6,576	12,690	-16.4
貸倒損失 (債権放棄)	11,637	9,975	7,360	4,661	847	958	1,002	905	3,713	-20.3	741	808	1,549	-14.2
繰入額	56,638	143,728	-	39,479	-	-	-	19,700	19,700	-50.1	-	-	-	-
引当金増減額	-12,600	74,900	-60,831	-1,768	-8,058	-8,933	-8,805	11,097	-14,700	-	-6,854	-7,385	-14,240	-
期末引当金残高	90,000	164,900	104,068	102,300	94,241	85,307	76,502	87,600	-14.4	-14.4	80,745	73,359	-14.0	-14.0

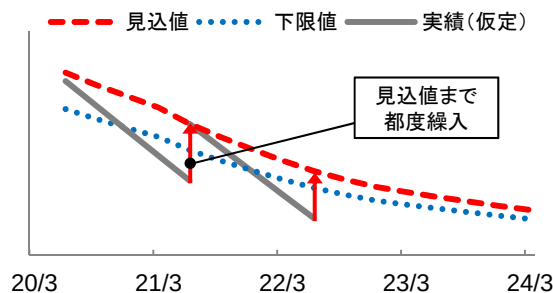
<参考>従来の引当金繰入のイメージ

<請求予想額>



引当金繰入のイメージ

<引当金残高>



利息返還損失引当金のポイント

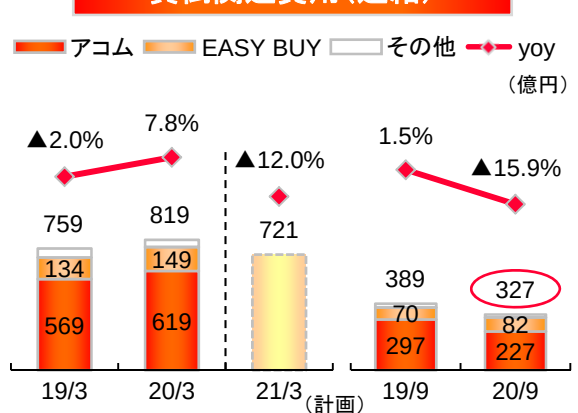
- ① 四半期毎の引当金残高が当初の見込値の下限値を下回った場合には、見込値との差額のみを繰入
- ② 以下のタイミングで、必要引当金の見積方法変更の必要性を再評価する
 - 四半期毎の引当金残高が当初の見込値の下限値を大きく下回った時
 - 3年に1度の中期経営計画策定時



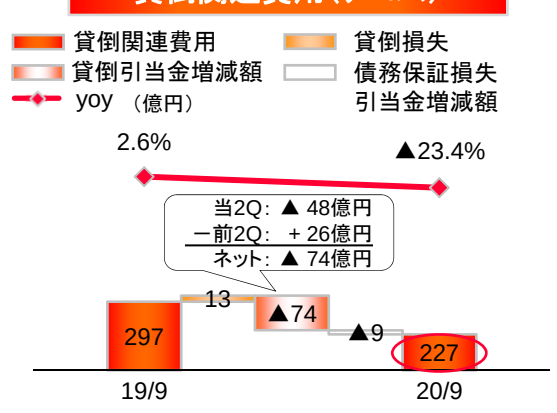
貸倒関連費用

- 貸倒関連費用(連結): アコム単体の減少により、前年同期比▲15.9%の327億円
- 貸倒損失額(アコム): 同+13億円の291億円
- 不良債権(アコム): 営業貸付金残高の減少により、同+47bpsの7.54%

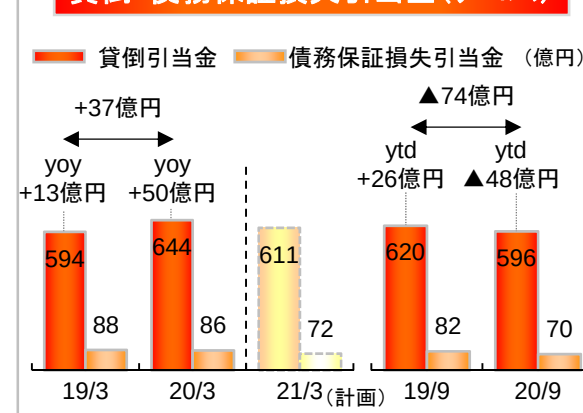
貸倒関連費用(連結)



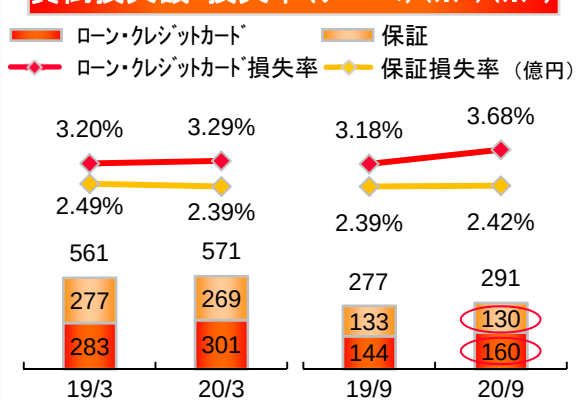
貸倒関連費用(アコム)



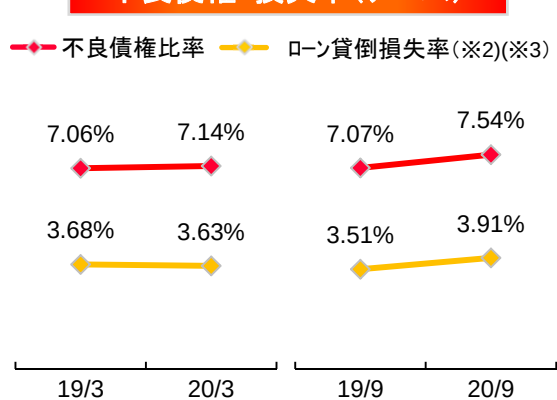
貸倒・債務保証損失引当金(アコム)



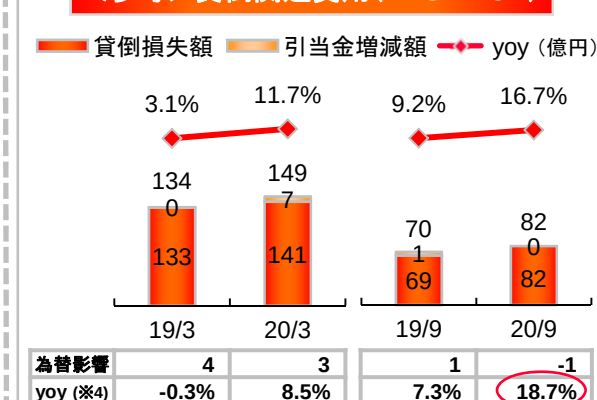
貸倒損失額・損失率(アコム)(※1)(※2)



不良債権・損失率(アコム)



<参考> 貸倒関連費用(EASY BUY)



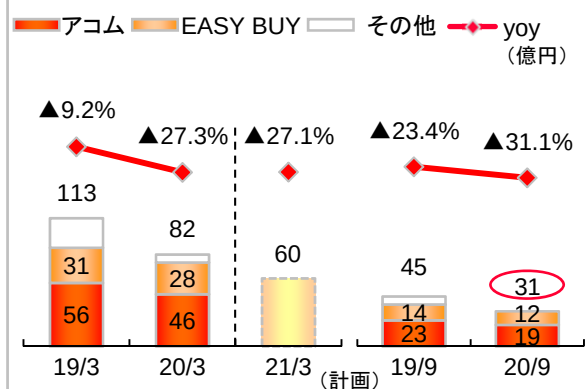
- ※1. 貸倒損失額及び損失率は、利息返還請求に起因する債権放棄分を除く ※2. 貸倒損失率の2019/9及び2020/9は年率換算
 ※3. 貸倒損失率は、利息返還請求に起因する債権放棄分を含む
 ※4. 現地通貨ベースの前年同期比



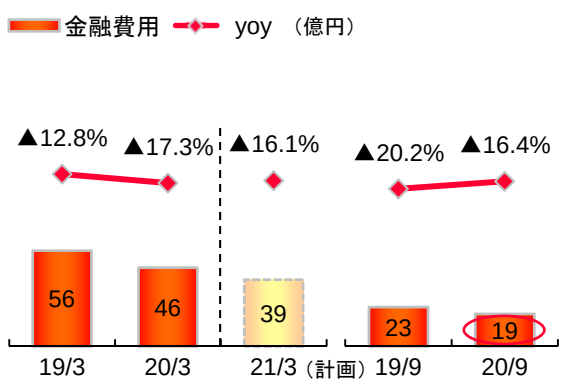
金融費用

- 金融費用（連結）：前年同期比▲31.1%の31億円
- 資金調達残高（アコム）：同▲719億円の5,445億円
- 期中平均調達金利（アコム）：低金利環境のもと、借入の入替が進み、同▲10bpsの0.68%

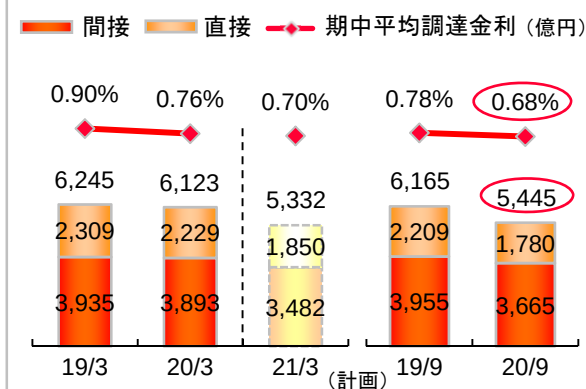
金融費用（連結）



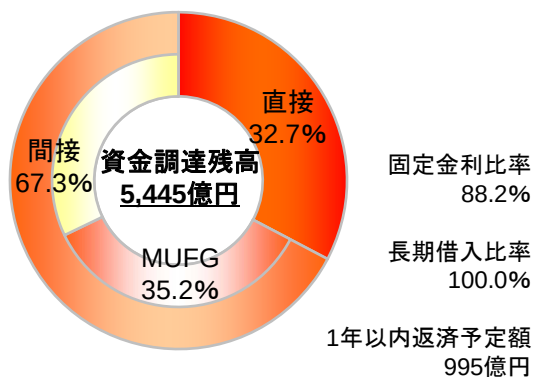
金融費用（アコム）



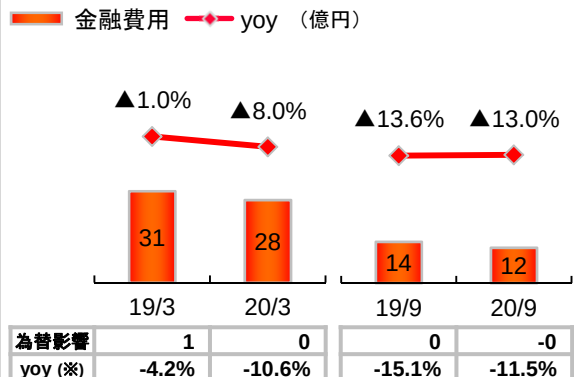
資金調達残高（アコム）



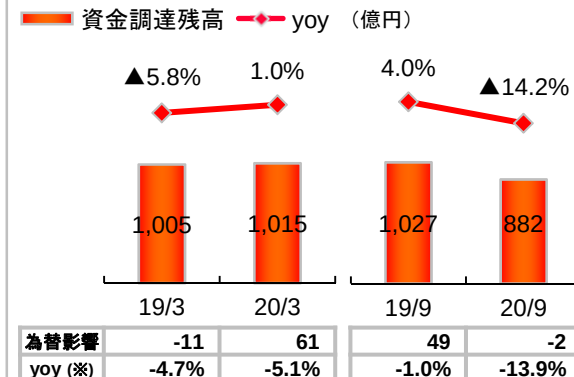
借入先別構成比（アコム）



金融費用（EASY BUY）



資金調達残高（EASY BUY）



※ 現地通貨ベースの前年同期比



配当状況

配当の基本的な考え方

- 業績、自己資本ならびに当社を取り巻く経営環境を勘案の上、安定的、継続的な利益還元を図り、株主還元の充実を目指す

業容・業績	自己資本	経営環境
● 新型コロナウイルス感染拡大に伴う資金需要の低下が続くものの、国内景気は足元で一部持ち直しの動きが見られることから、期末に向けて、中核3事業の業容は回復基調に向かう見込み ● 2021年3月期の業績は、営業収益は業容の減少を主因に減収、営業利益は業容の減少等により貸倒関連費用等が減少し、利息返還費用は発生しない想定であることから、増益の見込み ● 2022年3月期においても、新型コロナウイルス感染症の影響は残ると想定しており、中計最終年度の業容の達成は極めて困難	● 連結総資産に信用保証残高を加算して算出した自己資本比率は、営業債権残高や信用保証残高の減少により、18.9%で着地	● 今後も新型コロナウイルス感染拡大による影響は不透明な状況が続くと想定 ● 利息返還請求は引き続き、減少基調で推移しており、また、取崩額は想定どおりに減少する見込み

配当実績及び配当予想

- 2019年3月期は年間2円、2020年3月期は年間4円。2021年3月期は年間6円の配当を予想。

	2019年3月期(実績)		2020年3月期(実績)		2021年3月期	
	中間	期末	中間	期末	中間	期末
	1円	1円	2円	2円	3円	3円(予想)
配当金	年間2円		年間4円		年間6円(予想)	

<参考>

自己資本比率(※)	連結	14.4%	14.2%	16.2%	16.5%	18.9%	—
	単体	15.0%	14.6%	16.5%	16.6%	19.2%	—

※ 総資産に信用保証残高を加算して算出した自己資本比率

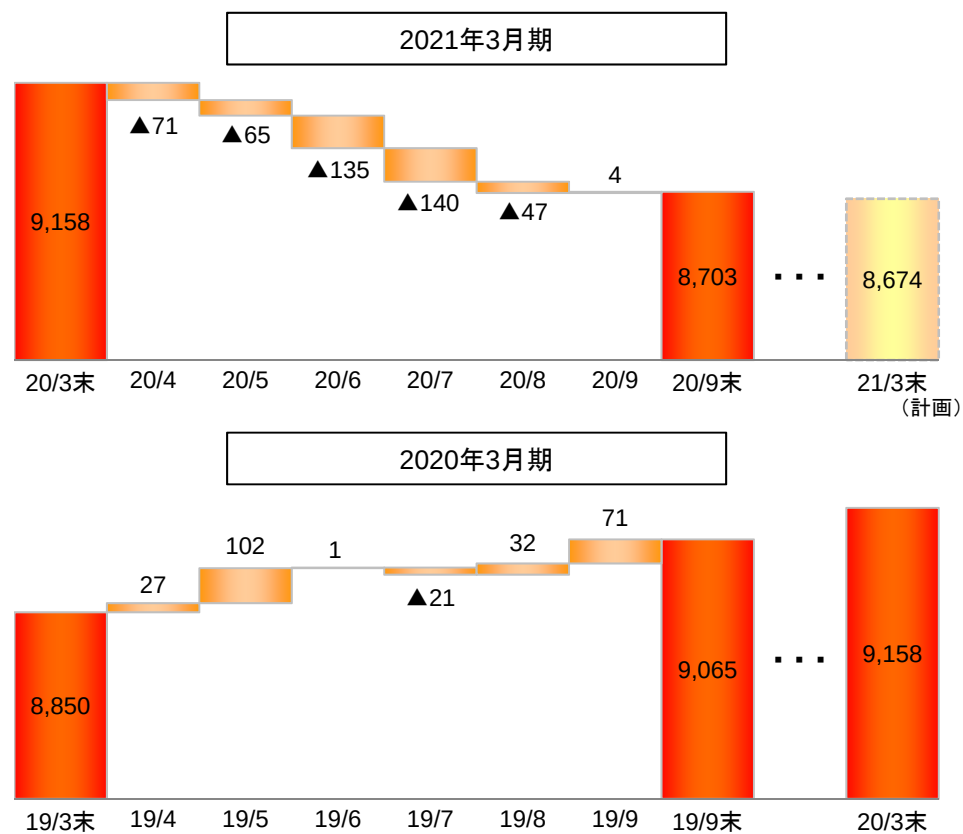
参考情報



【参考】新型コロナウイルス感染症の影響①

ローン・クレジットカード事業 営業債権残高

営業債権残高 月間増減額(億円)

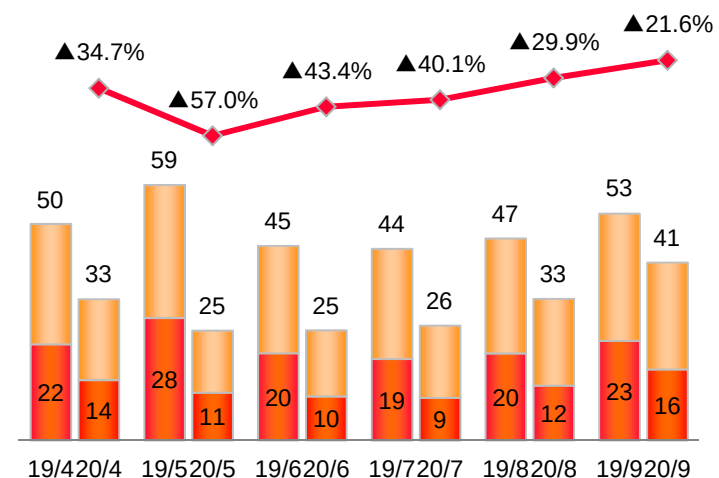


<月間増減額の前年同月比>

4月	5月	6月	7月	8月	9月
▲99	▲168	▲137	▲118	▲79	▲66

ローン事業 新規申込数および新客数

申込数 新客数 yoy(申込数) (千件)



ローン・クレジットカード事業のポイント

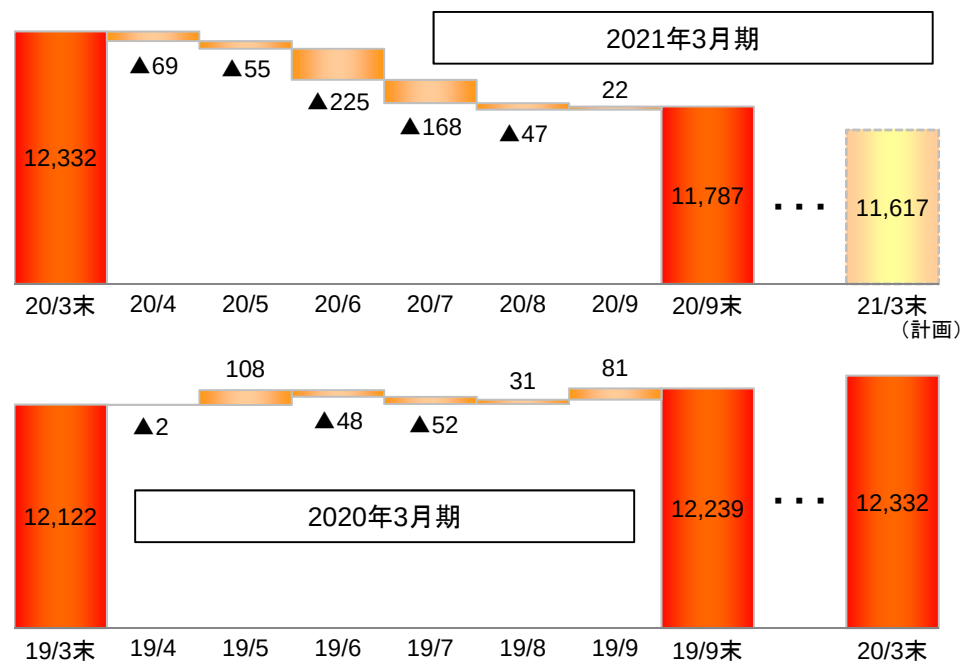
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う資金需要の低下は続くものの、期末に向けて残高の前年比の減少率は鈍化し、回復基調に向かうと予想
- 第1四半期にはコールセンター等の営業日・営業時間を短縮したものの、現在は通常営業
- 今後も、お客さまからの返済相談等に対して柔軟かつ丁寧な対応を継続



【参考】新型コロナウイルス感染症の影響②

信用保証残高(アコム、エム・ユー信用保証)

信用保証残高 月間増減額(億円)



<月間増減額の前年同月比>

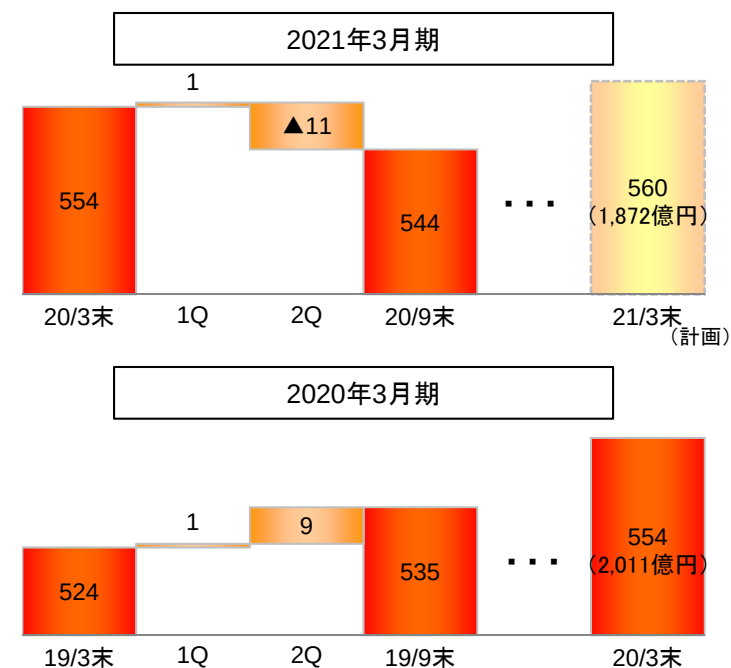
4月	5月	6月	7月	8月	9月
▲66	▲164	▲176	▲116	▲79	▲59

信用保証事業のポイント

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う資金需要の低下は継続
- 期末に向けて、残高の減少率は鈍化し回復基調に向かうと予想

営業債権残高(EASY BUY)【現地通貨ベース】

営業債権残高 四半期増減額(億バーツ)



海外金融事業のポイント

- 業容の大部分を占めるタイ王国において、現地政府の非常事態宣言による外出禁止令、活動制限、及び都市のロックダウン等の影響により資金需要が低下
- 円高バーツ安の為替影響もあり、業容は減少すると予想



【参考】中期経営方針、中期重点テーマ

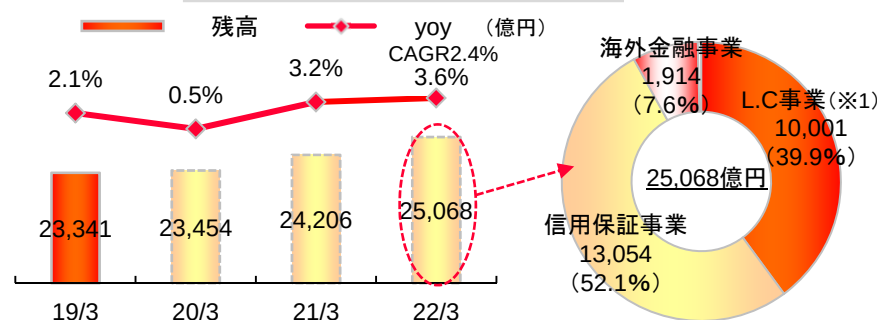
創業の精神	信頼の輪	
社名の由来	Affection（愛情） COnfidence（信頼） Moderation（節度）	
企業理念	アコムは人間尊重の精神とお客さま第一義に基づき 創造と革新の経営を通じて 楽しく豊かなパーソナルライフの実現と生活文化の向上に貢献する	
経営ビジョン	一人でも多くのお客さまに最高の満足を感じていただき 個人ローン市場において社会に信頼される「リーディングカンパニー」を目指す	
主たる事業 ドメイン	国内	ローン・クレジットカード事業、信用保証事業
	海外	ASEANにおけるローン事業
中期経営方針	環境変化にスピード感をもって対応し、持続的成長と企業価値の向上を図るとともに、 お客さまの期待を超えるサービスを創出する	
中期重点テーマ		事業戦略
① コンプライアンス・カルチャーの醸成 ② 採用・育成・定着の強化による人材基盤確立 ③ 与信・プロモーションの高度化による集客力向上 ④ 対応品質強化とデジタル化推進による良質な顧客体験の提供 ⑤ ローン・クレジットカード事業の持続的な業容拡大 ⑥ 信用保証事業における提携先との更なる連携強化	ローン・ クレジットカード事業	➢ 顧客ニーズの変化に適応した商品・サービスの提供 ➢ 安定した集客に向けた与信・プロモーション戦略
	信用保証事業	➢ 既存提携先との連携強化 ➢ 収益性の向上 ➢ 新規保証提携先の拡大
	海外金融事業	➢ ASEANを中心とした調査活動 ➢ 既存子会社の経営管理態勢の強化
	機能戦略	
	デジタル／IT	➢ キャッシュレス社会に適応した「融資・決済」サービス ➢ 超即時審査の実現による良質な顧客体験の創出 ➢ 基幹システムのリノベーションの推進
	業務改革	➢ 業務改革推進体制の整備 ➢ RPAの全社展開
⑦ 海外金融事業の基盤拡充 ⑧ 適正な債権保全の実現 ⑨ 環境変化への確に対応するためのIT態勢構築 ⑩ 業務改革による高品質・高生産性の態勢構築		



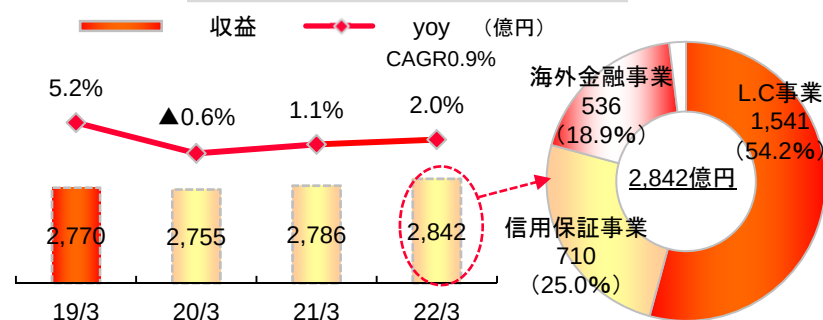
【参考】中期経営計画(2020/3 - 2022/3) 業容・業績

- 業容は中核3事業へのデジタル投資等により、2.5兆円を目指す。業績は増収増益を目指す
 - ・20年3月期: 業容は、Bank BNPの影響によりほぼ横這い。収益は、当該影響に加え、保証料率の低下により減収
 - ・21年3月期: 業容は、順調に拡大。業績は、業容拡大により増収、増益
 - ・22年3月期: 業容は、順調に拡大。業績は、更なる業容拡大により、成長率が加速

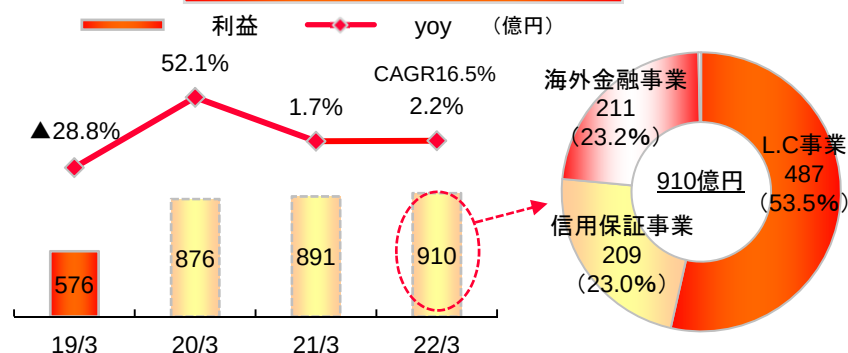
営業債権残高



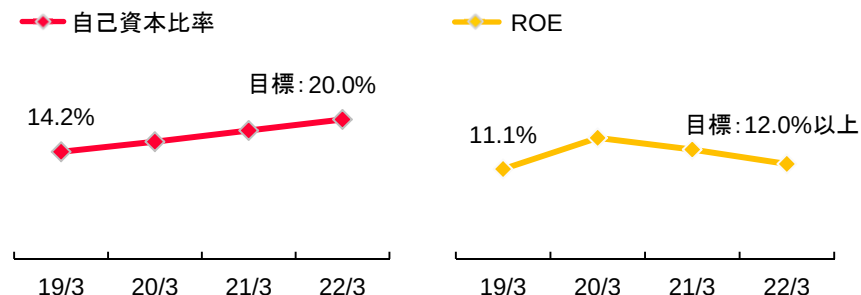
営業収益



営業利益



自己資本比率(※2)・ROE



※1. L.C事業とは、ローン・クレジットカード事業

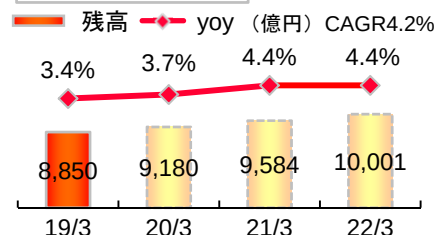
※2. 総資産に信用保証残高を加算して算出した自己資本比率



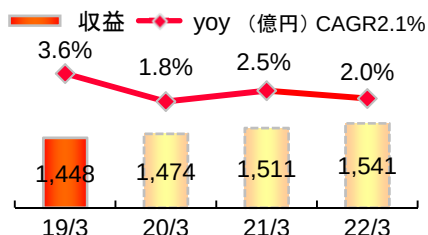
【参考】中期経営計画(2020/3 - 2022/3) 事業別業容・業績

ローン・クレジットカード事業

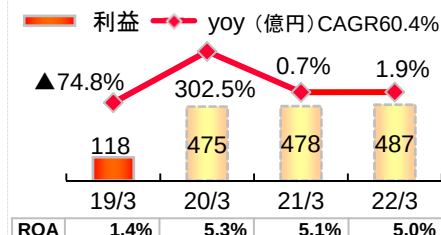
営業債権残高



営業収益



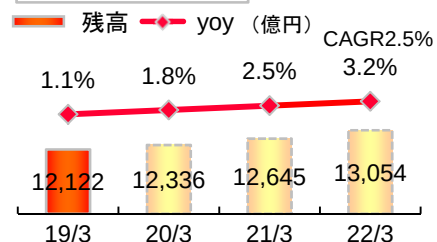
営業利益



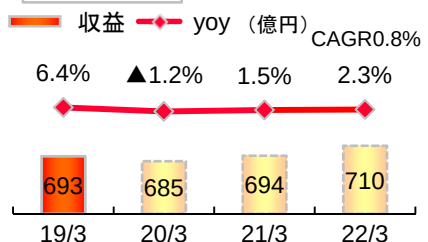
- ・残高は1兆円を目指す
- ・収益は1,541億円、利益は487億円を目指す

信用保証事業

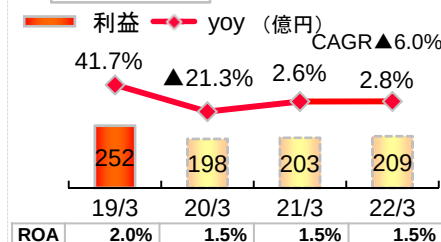
信用保証残高



営業収益



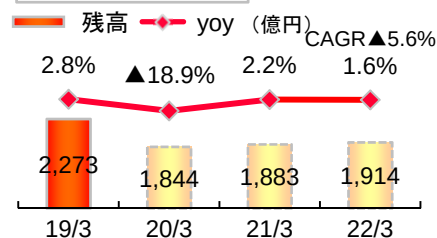
営業利益



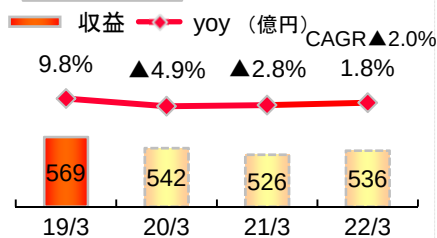
- ・残高は1.3兆円を目指す
- ・収益は710億円、利益は209億円を目指す
- ・20/3の収益は保証料率低下により減収

海外金融事業(※)

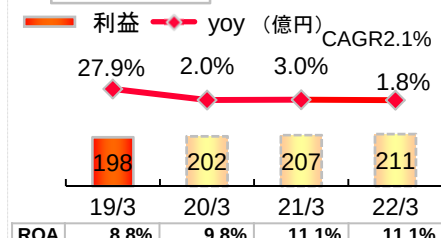
営業債権残高



営業収益



営業利益



- ・残高は1,914億円を目指す
- ・収益は536億円、利益は211億円を目指す
- ・20/3の残高、収益は、Bank BNPの影響によりマイナス成長

※ 2019年4月にBank BNPが連結除外となったため、Bank BNPの業容は2020年3月期計画に含めず、業績は2020年3月期計画に4ヶ月分計上



【参考】中期経営計画(2020/3 - 2022/3) 資本政策

資本政策の基本的な考え方



配当の基本的な考え方

- 業績、自己資本ならびに当社を取り巻く経営環境を勘案の上、安定的、継続的な利益還元を図り、株主還元の充実を目指す

	2019年3月期(実績)		2020年3月期		2021年3月期 2022年3月期
	中間	期末	中間	期末	
	1円	1円	2円	2円	
配当金	年間2円		年間4円		増配を目指す

※ 総資産に信用保証残高を加算して算出した自己資本比率



本件照会先：広報・IR室

電 話 番 号 03(5533)0861

メールアドレス ir@acom.co.jp